

〈大会の開催にあたって〉主催者側が行う対策

1. 試合会場への入場は人数の制限を行い、選手・役員以外はチーム関係者（保護者、学校関係者）のみで実施する。
2. 更衣室は学校単位（男女それぞれ）で利用場所を決め、広さにゆとりを持たせ選手同士が密になることを避ける。（換気にも配慮する）
3. 3密を回避するための会場レイアウトにする。（選手待機所、試合場の間隔）
4. 窓や扉を常時開放して換気の徹底を行う。（降灰に配慮する）
5. 選手、監督、引率者、競技役員動線上にアルコール消毒液を準備する。
6. トイレなど洗面所に石鹼等を準備する。
7. 試合間に複数の者が触れると考えられる場所を定期的に消毒する。
8. 競技役員のマスク着用の徹底する。
9. 開・閉会式は行わない。
10. 入場者（選手、監督、引率者、競技役員、チーム関係者）はチェックシートを提出する。

〈大会に参加するにあたって〉参加者が遵守すべき事項

1. 県高体連様式の体調チェック表（生徒用・部活動顧問用）に入場者一覧表を添えて、必ず提出すること。
2. マスクを必ず持参して着用すること。ただし、ウォーミングアップ及び試合中のみ、マスクを外すことができる。
3. 競技中の選手の発声は最小限にする。（ベンチからの声出し等も含む）
4. 選手はマスクの中にマウスシールドを着用して競技する。
5. 石鹼を使っての手洗いやうがい、アルコールでの手指消毒を必ずこまめに行う。
6. 握手やハイタッチ、肩を組むなどの競技以外での身体接触を控える。ミーティング等も短時間で行い、密にならないように配慮する。
7. ユニフォーム、メタルジャケット、グローブで顔をぬぐわない。
8. 会場等で急に風邪症状の生徒が出た場合、部活動顧問（引率責任者）は本部に報告するとともに、保護者及び所属校の管理職に連絡して帰宅させる。その際、他の生徒等への健康観察を徹底する。
9. 待機スペース等において、食事する際は、対面での食事や会話をしないように促すこと。
10. 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本専門部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。